

大内まちづくり 協議会だより



vol. 5

2013年3月

発行：大内まちづくり協議会

〒753-0215 山口市大内矢田951-5（大内地域交流センター内） TEL・FAX：083-927-0473



～ふるさとを愛し、
笑顔でふれあうまち大内～

避難訓練の様子

大内まちづくり協議会では、大内のまちが、住民同士互いに助け合う絆の強いまちとなることを目指している事業に取り組んでいます。

特に、災害に強いまちづくりのためには自治会・町内会を単位とした自主防災組織等の取り組みは重要です。災害時には、地域住民が互いに声をかけ合い、場合によっては自力で避難できない方を援護しながらとにかく避難することが最も重要なこととなります。

避難を素早く円滑に行うには、日頃から避難場所、避難経路を確認しておくなどの訓練が欠かせませんが、何より大事なことは近所とのつながりです。過去の震災においても近所の方々による人命救助の重要性が実証されています。

いざというときに一番頼りになるのはご近所の方々です。「向こう三軒両隣」という言葉がありますが、親しいお付き合いをしている近所のことをいいます。今一度、顔の見えるお付き合いを見直し、まずは「あいさつ」から心がけていきたいものです。

安心安全部会

災害対策の充実

単位自治会の自主防災意識を高めるため、防災資機材の先行整備を図り、自主防災組織の結成を促すとともに実質的な防災機能の強化に取り組みました。

平成24年度は、山口市防災危機管理課の指導を受けながら、4自治会（宮島、茅野神田、問田、氷上）で「自主防災組織」が結成され、山口市長から認定証の交付を受けました。

緊急時の情報伝達手段として必要な「ハンド型メガホン」15台とコンパクトで保管に便利な「ハン



ハンド型メガホン



ハンディーストレッチャー

ディーストレッチャー」13台を購入し、自主防災組織のある自治会や希望された自治会に配分しました。

防災・減災対策を機能させるためには、「自主防災組織」の結成が必要ですが、高齢化した自治会では、必要性は理解できるが組織の結成に至っていないのが現状です。

自主防災組織の更なる結成促進とともに、土嚢、土砂等の配備など、次年度も地域防災力の向上に向けた事業を推進していきたいと思えます。



避難訓練の様子

健康福祉部会

生活習慣病講座・野外で楽しくウォーキングほか

健康福祉部会は「心も体も加齢に華麗、いつまでも元気で大内の魅力を再発見」をテーマに、生活習慣病に関する講座や史跡等を巡るまち歩き等を実施しました。

生活習慣病講座では、運動、食事、病気との関係について再認識できました。



生活習慣病講座の様子

また、まち歩きでは、半日のコースでしたが、これまで知らなかった史跡を沢山発見することができ、あらためて大内の豊富な資源に気づくことができました。

参加者からは、満足の声を多く聞くことができ充実した内容であったと思われま。



まち歩きの様子



健康づくり体操の様子

今後は、若年層にも多く参加してもらえよう他の行事との連携や実施回数等について検討していきたいと思えます。

文化教養部会

大内史跡マップ編集事業

大内住民の課題は？と振り返ったとき、歴史と伝統のある大内地域の良さに気づいていない人も多く、地域のすばらしさを活用していないのではないかとという声がありました。そこで、文化教養部会では、「ふるさと大内を知り、地域で学ぼう」をテーマに、平成24年度は、大内史跡マップ編集事業に力を入れ、「ふるさと大内を知ってもらいたい」という願いのもと活動しました。



日吉神社で昼食・休憩中

一昨年に立ち上げた史跡マップ編集委員会では、委員が各史跡の最も美しい季節の写真を自ら撮影して持ち寄るなど、一年をかけて何回も会議を開き、なんとか今年3月に完成したところです。完成した史跡マップ（歴史案内図）は、大内の各家庭に届けますので、大内の良さを知る手がかりにしてほしいと考えています。今後は、そのマップを活用した地域探索事業や地域自慢事業を展開したいと考えております。



小野地蔵院を散策

生活環境部会

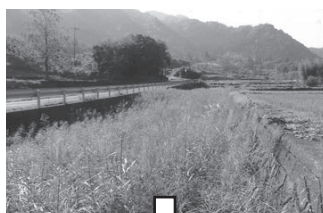
河川環境美化活動助成金事業

地域の居住環境及び自然環境保護につながる河川環境美化のためには、単位自治会の取り組みが不可欠です。

生活環境部会では、河川の美化活動に取り組む自治会に助成措置による支援を行い、活動の促進に取り組みました。

平成24年度は、10自治会で事業実施され、地域内の川がとてもきれいに整備され、河川美化活動に対する意識が向上したと思われる。

本年度は、初年度とあって、各自治会では助成金の申請に必要な書類整備（領収書等）につき十分だったところも見受けられましたが、平成25年度は、事務手続を円滑に進められるよう周知を図りながら、より多くの自治会で事業が実施されるよう取り組んでいきたいと思ひます。



仁保川美化活動



菅内川美化活動

地域振興部会

大内まちづくり事業推進研修会

まちづくりを円滑に推進するためには、本協議会の委員をはじめ地域の皆さんの気運や意識の醸成を図ることが必要と考え、本年度は陶連合自治会の松尾会長を講師に招き、まちづくりに関する先進的な取り組みについて学びました。

松尾会長のお話の中で、特に印象深かったのは、アイディアに富み、従来の考えにとらわれず発想の転換を図られていること、地域住民や関係団体が主体的に参加して地域の課題について話し合い、地域づくり計画を策定されている点でした。同じ山口市内の取り組みであり大いに参考になりました。この研修で学んだことを生かし、大内地域においても地域住民及び関係団体が連携した取り組みにより、これまで以上に住みよい地域を目指し取り組んでいきたいと思っています。

事務局長あいさつ

平成24年11月に事務局長に就任いたしました古本賢亮と申します。現役時代は広島を皮切りに四国、九州、山口、沖縄と転々とし住所不定の暮らしをしておりました。

数年前から大内地域交流センターのパソコン講座を担当させて頂く機会がありたくさんの方にお会いでき、地域の方々との交流を通じ大内の住民になれたかなと感じております。そしてこのたびは「まちづくり協議会」の事務局で働ける事は光栄で同時に身の引き締まる思いです。

地域振興部会の事業計画に「ホームページを開設して情報の提供」という事業があり、そのお手

伝いをさせて頂いております。今年4月から開設できるように、現在奮闘中です。地域の方々に楽しんで見て頂けるホームページを目指し、地域の催しをタイムリーに写真や動画でホームページに載せ紹介をしたいと思っています。

私は写真やビデオの撮影が趣味で、私の撮影した写真もイベントの報告に載せたいと思います。まちづくりの目指す方向について、まだ学習中でございます。皆様に教えを乞いながら、より良い地域づくりが実現できるように微力ではございますが努力してまいります。



研修会の様子



編集後記

大内まちづくり協議会だよりでは、協議会の活動について地域の皆さんにしっかり伝えていこうと考えています。協議会あるいは本誌へのご意見やご提案などございましたら、ぜひお聞かせください。

また、地域づくりに関するご質問でも結構です。お気軽にお問い合わせください。

(連絡先) 大内まちづくり協議会事務局

電話・FAX 927-0473

